

会 議 録

会 議 名	第 2 3 期小金井市公民館企画実行委員の会議 第 1 回		
事 務 局	公民館貫井北分館		
開 催 日 時	平成 2 6 年 8 月 5 日 (火)		
開 催 場 所	公民館貫井北分館 学習室D		
出 席 委 員	小川委員、宮崎委員、師岡委員、吉田委員、若井委員		
欠 席 委 員			
事 務 局 員	倉橋副理事長、村山分館長、伊藤副分館長、星、野津		
傍聴の可否	可	傍聴者数	
傍聴不可・一部 不可の場合は、 その理由			
会 議 次 第	1 報告事項 ① 7月までの事業の報告 ② はなみずき学級準備会報告 2 審議事項 ① 今後の事業計画 3 その他		

会議内容

1 報告事項

村山：4月から7月までの事業報告は別紙のとおりです。

野津：7月17日のはなみずき学級の準備会にご参加された方、お疲れ様でした。11名の方にご参加いただきご意見をいただきました。今回は「アンチエイジング・地域を知る」というテーマにして計画中です。

小川：準備会は何回もやると思っていました。1回だけなのですか。

野津：9月にスタートしたかったのですが、今回は1回のみにさせていただきます。

小川：参加者の年齢層として、例えば後期高齢者をターゲットにするなど、どのようにお考えですか。

野津：市報では60歳以上で募集をかけます。60歳の方も80歳の方も交流できるように考えております。担当の企画実行委員は小川委員、師岡委員、若井委員にお願いします。

2 審議事項

星：9月9日（火）に北町センターの花づくりの準備会を行います。6月にみどりのまちづくりという講座を行いました。アンケートなどの回答で企画から参加したいという声が多かったので、準備会を実施いたします。宮崎委員と吉田委員にご参加いただきます。

伊藤：9月26日（金）に若者コーナーの準備会を行います。7・8月に若者向けの講座を実施いたしましたが、なかなか参加していただけません。中学生は部

活で忙しいようです。小学生を対象に土曜学校のよ
うなものを企画したいと考えています。学校でも家
でもない学びの場を、学芸大学や中大の学生にも参
加いただいて、こどもたちのニーズに合うようにし
ていきたいです。

師岡：楽しく学ぶというのはどういうことですか。

伊藤：大人の視点とは違うので難しいです。小学生を育て
て、中学生になった時に参加しやすくしたいと思っ
ています。

若井：小学生や中学生が集まる場所として、リーダーを育
て行く感じですね。

師岡：小学生対象というのでわかりづらいです。

若井：小学生の意見も必要ですね。

小川：小学生をどのようにしよう。

若井：準備会だけ参加したいと思います。

伊藤：今回は子どもパートナーというよりは、地域の方々
を呼んでコミュニケーションをとりながらすすめる
講座を考えています。

若井：こうしなさい、ああしなさいっていうのは子どもは
嫌がります。環境を与えて行き過ぎた時のみ意見を
するというのが理想です。

小川：「いじめ」を解決するようなアプローチで参加して
みたいです。最近の子どもたちはいじめに無関心な
気がします。

伊藤：楽しくやる中で距離をとったりしながら、最終的に
貫井北分館に来てほしいです。

村山：貫井北分館にとって、若者コーナーは大きなテーマ

です。前例がありませんので、面白味があります。どこの自治体も公民館利用者に子どもが少ないという課題があるようです。子ども、親世代、高齢者の3世代が集うような場所になるといいです。早いうちに公民館になじんでいただき、地域とのかかわりをいい関係にもっていただけたいと思います。

若井:本館では昼間は高齢者が多いですが、夜は子どもたちも見かけます。場所や時間帯にも影響されるかもしれませんね。

伊藤:スタジオを利用している高校生バンドや、北町ホールでダンスの練習をする若者もいます。1人で勉強にきている子たちもたくさんいます。若者コーナーにノートを置いていますが、とても居心地が良いと書いてくれています。ITルームなどを解放した場合、小さな勉強会などを行っている子たちもいます。先行投資をして、次につなげて行ってほしいです。

若井:小金井の子どもたちはまじめでよく勉強をします。

伊藤:よいところを伸ばしたいです。

倉橋:一面を見ないで、全体を見てほしいです。覇気がないという見方もできます。

師岡:近所の学童保育のこどもたちを見ていると、とてものびのびとしています。

野津:北町ホールの健康づくり講座の予算が2時間×6回分ありますが、半分を若者対象、残りを高齢者対象の講座にしたいと思います。若者向けに即興ダンスの企画をしました。レッスンは英語で行っていただきますので、英語を聞いたり話したりする機会にも

なります。

若井：講師にアシスタントはいないのですか

野津：いませんが、自分で考えるダンスなので講師が一人で大丈夫だと思います。

師岡：中学生のダンスが必須になりましたよね。

野津：対象を高校生以上ではなく中学生以上にして、応募方法もメール可にしてみます。担当は師岡委員にお願いします。

星：子育て・子育ての講座で、写真をツールにして家族を見直していただき、スクラップブックで後々家族の歴史を作っていただく講座を企画しました。参加者同士の交流をうながしたいので、定員は15名にしました。保育をつけます。タイトルのラブフォトというのは、家族やペットの写真ということです。子育て中の母親は、土日は家族の予定があり、出づらいため、金曜の午前中にしました。当初、講師に年賀状でお願いしたのですが、年賀状はお母さんだけでは決められない場合が多いので、スクラップブックにしました。

若井：年賀状は商売の妨げになる場合があるので気を付けた方がいいですね。

小川：市民からの要望があったのですか。

星：まず開催時期を考え、10月中旬が一番参加しやすいと思い、また、写真は皆さんの興味をひくと考えました。

小川：公民館の目的で実際生活に即する教育というのがありますので、子育て中の親が悩んでいるような問題

を取り上げて講座をやってほしいと思います。学大の先生をお呼びして、学校にチラシを配ると参加者が増えます。

星 : 受け止め方の違いですが、悩みを実際に打ち明けるということは、非常に後味が悪く危険なこともあります。

倉橋: 条例は崩せませんが、今のお母さん方が参加しやすいような方法を考えていくことも大事ですね。

村山 : 11月スタート予定の講座が2つほどありまして、地域研究と、自主講座です。地域研究は担当の職員が野津で、小川委員、宮崎委員、若井委員に担当していただき、自主講座も小川委員、宮崎委員、若井委員です。次回の会議は9月2日(火)午前10時からです。よろしく願いいたします。